

救急

わたしたちができること 応急手当市民サポーター募集

救急車はタクシーでは
ありません



救急車適正利用
啓発ポスター

救急車は、けがや急病などで緊急に病院に搬送しなければならぬ傷病者のためのものです。緊急ではないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする事故が発生した場合、遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れることで、救える命が救えなくなる恐れがあります。

緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関を利用してください。

傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行ったほうがよいと思ったときは迷わず119番通報してください。



(上)講習会で指導する田口恵子さん(右端) (下)AEDの使い方や心肺蘇生をせよ(法などを指導します)

救急出動は約9分に1回

平成20年の救急車の出動件数は5万6934件(前年比81.5%減、搬送人員4万9836人)で、1日平均155.6件でした。これは、9分15秒に1回の出動、市民の約28.9人が一人が救急車を利用したことになります。また、安易な出動要請は2668件に上ります。

出動から現場到着までにかかった平均時間は6分4秒でした。心肺停止から6分後に命が助かる可能性は、応急手当をした場合が約30%、何もしなかった場合は約15%と半減(スウェーデンの統計調査「応急手当と救命曲線」より)。救急車到着までに、その場に居合わせた人が応急手当をすることは、非常に重要で

32万人が救命講習修了

AED(自動体外式除細器)講習で指導する田口恵子さん(右端) (下)AEDの使い方や心肺蘇生をせよ(法などを指導します)



防犯

性犯罪から身を守る まずは自分でできる対策の徹底を

平成20年に本市で発生した性犯罪の認知件数は、10年前の約2倍の1577件(強姦51件、強制わいせつ106件)で、人口千人当たりの発生率では、3年連続で全国ワースト1位です。

市内の性犯罪発生状況

被害の特徴
犯人は、駅やコンビニエンスストア、レンタルビデオ店などで、女性の行動を観察しています。発生場所は帰宅途中の路上が最も多く、玄関の鍵を開けて入室する瞬間に、犯人に押し込

主な防犯ポイント

●夜間にやむを得ず一人で行動する場合は警戒心をもち、暗い場所は避ける。
防犯ブザーを手に持つ。メールをしながら歩かない。
後ろから付けられないか警戒する。
●エレベーターで知らない男性と二人きりになったら、非常ベルに近い所に立

出前講座で防犯対策

市は、性犯罪対策についての出前講座を実施しています。職場や地域などの10人以上のグループで、生活安全課(下記参照)へ申し込んでください。
【問合せ先】生活安全課 (0711-4054711・4059) メール: ikatsuzanzen.CAB@city.fukuoka.jp

は、消防局主催の3時間以内の再講習を受講した人を含む) ※応急手当普及員講習(下表)の問い合わせや消防局救急課(下記参照)へ。
【申込み方法】最寄りの消防署・消防本部(中央区舞鶴3)で配布、または消防局ホームページ(<http://119.city.fukuoka.jp>)からダウンロードできる「応急手当市民サポーター登録申請書」を、消防局救急課に郵送してください。

応急手当市民サポーターとは

市内に居住または通勤・通学している応急手当普及員講習を修了した人(有効期限内に再講習を受講した人を含む) ※応急手当普及員講習(下表)の問い合わせや消防局救急課(下記参照)へ。
【申込み方法】最寄りの消防署・消防本部(中央区舞鶴3)で配布、または消防局ホームページ(<http://119.city.fukuoka.jp>)からダウンロードできる「応急手当市民サポーター登録申請書」を、消防局救急課に郵送してください。

登録条件

●ワンドア・ツーロックが基本。2階以上でもベランダの窓は施錠する。
●玄関の鍵を開ける際は周囲に注意する。
●見知らぬ訪問者には、ドアチェーンを掛けたまま応対する。
●もし襲われたら大声を出すなどして助けを求め、すぐ110番通報する。

持ち物を利用して離れる方法

「まちふれクラブ城南」の皆さん13人と市長が4月27日に懇談しました。同クラブは城南市民センター主催事業「まちづくりふれあいしほ専科」の受講者で結成したボランティア団体。メンバーが公民館の高齢者ふれあいサロンや福祉施設、医療機関のデイサービスへ出向き、皿回し、マジック、南京玉すだれなどを披露しています。

聞きかたけん 第2回

参加者の演技を見た市長は「皆さん自身が楽しんでいることがよく伝わってきました。元気なパワーがあふれ、見る側を晴れやかな気持ちにさせてくれます」と語り、地域でボランティア活動を行う参加者たちに声援を送りました。
【問合せ先】広聴課 (0711-4067733・5580) メール: kocho.NO@city.fukuoka.jp

市長のくさ日記

「去年の終わりがろから一挙に増えましたね。天神で清掃活動をする若いグループから聞いた話です。増えたのはたばこの吸い殻。ごみはそうでもないのに、吸い殻の「ポイ捨て」が目立つという。理由はやはり不況のようです。仕事がうまく回らずイライラが募り、たばこをつい道路や公園に捨てる。携帯用の灰皿を持ち歩いたり、屋外の灰皿を探す余裕がないのでしょう。守るべ

応急手当普及員講習(3日間)

【内容】基礎的な応急手当の知識と技能、基礎医学、資機材の取扱要領指導技法、講習会の指導要領(筆記・実技試験あり)
【場所】消防本部(中央区舞鶴3)3階講堂

	実施日 午前9時～午後5時	受付開始日 午前9時から
7月	22日(水)～24日(金)	6月9日(火)
8月	7日(金)～9日(日) 26日(水)～28日(金)	7月14日(火)
9月	10日(水)～12日(土)	8月11日(火)
10月	7日(水)～9日(金)	9月8日(火)

※各回とも定員40名に達し次第、締め切り

※登録後の研修会を経て、10月から活動開始予定です。
【問合せ先】消防局救急課 (0725-6574725・6609) メール: kyukyu.119@city.fukuoka.jp



持ち物を利用して離れる方法
～護身術マニュアルより～

「まちふれクラブ城南」の皆さん13人と市長が4月27日に懇談しました。同クラブは城南市民センター主催事業「まちづくりふれあいしほ専科」の受講者で結成したボランティア団体。メンバーが公民館の高齢者ふれあいサロンや福祉施設、医療機関のデイサービスへ出向き、皿回し、マジック、南京玉すだれなどを披露しています。

「まちふれクラブ城南」の皆さん13人と市長が4月27日に懇談しました。同クラブは城南市民センター主催事業「まちづくりふれあいしほ専科」の受講者で結成したボランティア団体。メンバーが公民館の高齢者ふれあいサロンや福祉施設、医療機関のデイサービスへ出向き、皿回し、マジック、南京玉すだれなどを披露しています。



「まちふれクラブ城南」の皆さんと笑顔の市長(前右列から3人目)